



# 感染症週報

令和8年6月15日発行



小笠原での流行状況

第24週（6月8日から6月14日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

## 東京都全体での流行状況

第23週（6月1日～6月7日）

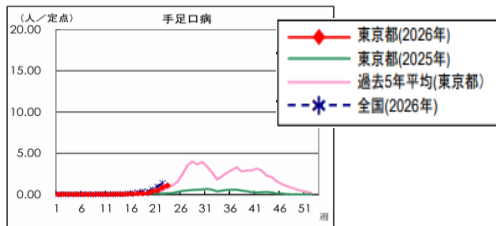
【警報・注意報】

特にありません。

【ピックアップ】

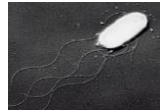
【手足口病】

21週の週報で取り上げましたが、増加傾向です。手洗い等、予防策を徹底しましょう。



## O157(腸管出血性大腸菌)

O157は、強い毒素（ベロ毒素）を出して出血性腸炎や重篤な合併症を引き起こす「腸管出血性大腸菌」の一種です。ごく少量の菌でも感染し、激しい腹痛、水様性下痢、血便が特徴です。特に子どもや高齢者は重症化しやすいため、少しでも症状がある場合は自己判断せず直ちに医療機関を受診してください。



O157 「農林水産省HP」より

### 主な症状

潜伏期間：2日～14日（平均3日～5日）

初期症状：激しい腹痛と頻繁な水様性下痢

進行時の症状：血液の混ざった下痢（血便）

### 予防のポイント

O157は熱に弱く、一般的な食中毒対策が有効です。

- ・十分な加熱：肉料理は中心部までしっかり加熱（75度・1分以上）し、生焼けの状態では食べない。
- ・手洗いの徹底：調理前後や食事の前、トイレの後には必ず石けんと流水で手を洗う。
- ・調理器具の使い分け・洗浄：生肉を調理したまな板や包丁から他の食品へ二次感染しないよう注意する。

## 感染症メモ

### 溶血性尿毒症症候群（HUS）について

溶血性尿毒症症候群（HUS）は、主にO157などの腸管出血性大腸菌の感染後に起こる重い合併症です。菌の毒素により血管が傷つき、赤血球の破壊、血小板の減少、急激な腎機能の低下が同時に起こります。重症の場合は急性腎不全や意識障害を引き起こし、命に関わることもあるため、特に子どもや高齢者では注意が必要です。



習慣にしよう!

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所